会 議 録

- 1 会 議 名 木更津市立公民館運営審議会臨時会議
- 2 開 催 日 時 令和6年1月18日(木)14時30分～15時30分
- 3 開 催 場 所 木更津市立中央公民館 B館3階多目的ホール
- 4 出席者氏名【公民館運営審議会委員】17名

根本 修身 小出 京子 高木 厚行 石川 泰子 青木 健
市川 一成 実形 昭夫 平野 進 室前 恵子 秋元 豊
原田 洋子 小倉 博史 澤邊 賢司 鈴木 和幸 山下紀世美
山口 宗治 加山 恒夫

【公民館長】11名

水越 学 (中央公民館) 出口 雅彦 (東清公民館)
唐鎌 勲 (富来田公民館) 多賀 一也 (清見台公民館)
相場 明彦 (岩根公民館) 佐藤 千明 (鎌足公民館)
岡田 清治 (中郷公民館) 河野 勝 (波岡公民館)
星野 隆弘 (富岡公民館) 渡邊 祐二 (桜井公民館)
小倉 敏幸 (文京公民館) 石井 一彦 (八幡台公民館)
江尻 益男 (西清川公民館) 鈴木 加津也 (畑沢公民館)

【事務局職員】3名

温井 誠也 (中央公民館主任主事)
進藤 颯 (中央公民館事務員)
宮城三津子 (中央公民館社会教育指導員)

【経営改革課】1名

安田 貴之(市長公室次長兼経営改革課長)

- 5 議題及び公開又は非公開の別 公開
今後の公民館について 経営改革課による説明会
意見・情報交換
- 6 傍聴人の数 0人

7 会議概要 以下のとおり

事務局より、出席者数が2分の1以上に達した(20名の定員に対して17名の出席)ので、本会議が成立したこと、及び、本会議は公開制であることを報告し、令和5年度木更津市立公民館運営審議会臨時会議を開会する。委員長挨拶の後、事務局の進行により説明会に入る。

事務局渡邊 それでは、これより説明会を開催させていただきます。説明会の前に、水越中央公民館長よりご主旨説明をさせていただきます。

水越館長 まず、冒頭に元旦に発生しました能登半島地震で被災された方へお見舞い申し上げるとともに亡くなられた方に哀悼の意を表します。また、一刻も早い復興を心よりお祈りいたします。

さて、私からは本日の臨時公民館運営審議会 開催趣旨を簡単にご説明させていただきます。皆様もご周知のとおり、今年度の5月、10月2度の木更津市総合教育会議の席上にて、市長より公民館のコミュニティーセンター化への移行の提言が発せられ その席上にて教育委員との意見交換が行われました。

本日はこれから まず、「今回の発言の経緯の一つとして」考えられる本市が実施した「業務評価」の公民館に関する説明を経営改革課よりのお話を広聴して頂きます。

その後、公民館運営審議会として今後の対応について説明をしたのちに、意見交換を行います。概ね終了を3時30分の予定で行って頂きたいと思っております。

事務局渡邊 本日の臨時会は、委員皆様への説明会となりますので、本日は、ご多用のところ安田経営改革課長にお越し頂いております。ありがとうございます。

早速ですが、ご説明の方よろしくお願ひします。

安田課長 お手元資料のA4の「令和4年度木更津市業務プロセス分析業務の結果より」をお出してください。

経営改革課では木更津市の業務の最適化、業務の効率化、改善を図るため、令和4年度に業務プロセス分析事業、所謂、棚卸事業と呼称する事業を実施したところでございます。

本事業は全庁、公民館等含め80課を対象に実施し、2,500を超える事業すべてにおいて可視化判断を行ったところでございます。その結果と致しまして、正職員ではなくても実施できる事業、会計年度職員でもできる事業、また委託でもできる事業、アウトソーシングできる事業など、そういった担い手の判断やデジタル化技術の活用による効率化、RPA導入や、オンライン申請の有効化などの判断が出されました。その中で公民館関連において指摘が三つございました。

一つ目は、コミュニティ政策を含めた地域政策のビジョンを検討し、推進のハブとなるコミュニティ政策担当課が不在となっていること。

二つ目と致しまして、公民館の施設稼働率を確認したところ、新型コロナ禍前のデータによりますが、15館中12館が50%以下の稼働率となっており、公民館の稼働状況が年々悪化していること。

三つ目と致しまして、行政課題が多様化・複雑化し、また国や県からの権限移譲等、行政需要が増大する中で、地域特有の課題への対応は、今後、一層地域が主体となって取り組むことが求めら

れる。などの問題、課題が指摘されたところでございます。今後の公民館と致しましては、学習の場としてのみならず、地域活動の拠点としても期待されることから地域活動団体などが主体となって運営することで、自らの地域課題に必要な講座の企画、開催や学習成果を活かした課題解決活動の企画実施などを推進する必要がある。今後の方向性と致しましては公民館を市長部局に移管し、地域が主体となった地域自治、地域コミュニティ拠点としての機能を再編、整備することが、本市、木更津のまちづくりに望ましいのではないかと改善方策が、受託者であります外部コンサルタントから提案されたところでございます。並行して合わせて令和4年の市議会の一般質問におきまして、議員から「地域自治振興のため地域のことは地域に委ね、その活動拠点として公民館のコミュニティセンター化への移行が望ましい」旨の質問もありました。

このような経緯を踏まえまして、令和5年5月、及び10月の総合教育会議において市長と教育委員方々との意見交換がなされたところでございます。私からの説明は以上でございます。

事務局渡邊 ありがとうございます。ただ今の説明の中で何かご質問等はございますでしょうか。

秋元委員、お願いします。

秋元委員 八幡台の秋元です。今の説明はすごくざっくりしています。いろいろ分析されているようですが公民館の実際の仕事などについて読んだことはございますか。条例等に載っていますので、どこが問題なのか、それを明らかにして頂きたいと思います。私どもには公民館で3年前、この利用率20%というデータがあります。それについては私どもも感じるがありまして、いかに地域から人を集めてくるかという模索をしている段階です。もう一つ稼働率の問題については、コロナ禍の前に有料化の問題がありまして、2割ぐらいのサークルがお金を払うのならやめたいという話があった経緯がございます。その点も含めて考えていくべきで、もっと実態を知って頂きたいと思います。その上でコミュニティセンター化について、考えていただきたいと思います。調べてみるとコミュニティセンターにしても問題があります。基本的に今の公民館が抱えている問題とまったく同じような問題が出てきています。単に顔を挿げ替えるだけですから、当然コミュニティセンター化されても、何年か経てばまったく同じ問題が出てくる。そういう意味では、経営改革を含めてどのようにしていくのか提案される必要があると思います。そのへんのところはどのようにお考えでしょうか。

安田課長 はい、ありがとうございます。提案する以上は、確かに公民館事業を細かくしなくてははいけないと感じてはおります。

冒頭にお話しさせて頂きましたように、私どもの課では、業務プロセス分析事業を行い、80課等を対象に2,500を越える事業の可視化判断をいたしました。

そこに100を超える様々な課題等や指摘等がございます。

改善策というのは各課等とのヒアリングを経て提案をさせて頂いたものです。

申し上げましたとおり、例えばスポーツ関連の事業では、協議会などを設けている場合などが多

く、協議会が行う役割と市が行う役割、事務分担が明確になっていないことからの結果、市が全てを行っているなどの指摘が多くありました。今回はじめて教育委員会や関係する協議会に出席させて頂きまして、細かいことも理解していないで対応しているとのことご指摘は、おっしゃる通りだと思います。ただ、業務プロセス分析事業を実施した所管課の長として、本日、この経緯等を説明させて頂いたところでございます。

秋元委員 大枠のことは理解できますけど、実態をもう少し理解した上で、コミュニティセンターの方がより多くの人が集まるという確約があるかどうか。問題点は整理できるというのであれば、整理して頂いて説明して頂ければ、公運審の中でもやはり公民館ではなく、センターの方が良いのではないかと意見が出てくるのではないのでしょうか。ただ先ほど言いましたとおりセンターでの問題点も公民館が抱えている問題もまったく同じで、若い人たちが今の経済状況で、このような場所に集まるかというとなかなか難しいと、経営改革でいろいろ勉強していただいておりますから、それも含めて考えていかなければならないのではないかと考えています。きちんとデータを揃えてオープンにしていきたいなと思います。利用者も知らない人が多いので、その辺も含めて今後どのようにしていくのかプロセスがわかれば教えて頂きたいと思います。

安田課長 ありがとうございます。今回の公民館のコミュセン化の提案を含めてプロセス分析に係るコンサルタントの提案等の結果について、各部課長へお渡しをさせていただいております。この件に関しましては、委員のみなさんご存じのとおり、まず総合教育会議の委員への説明と意見交換がありました。その教育委員さんの意見を踏まえて、本日はじめて午前中に社会教育委員会会議、午後に公民館運営審議会で説明をさせて頂いております。この提案に対し皆様がコミュニティセンター化を検討するのもよいのではないかとということがあれば、おそらくは、こちらの事務局から他の自治体の事例など様々なパターンの紹介があるのではないのでしょうか。例えば公民館条例を残しながら、コミュセンを進めていくなど、他市にもいろいろな対応事例があると思いますので。その辺は事務局が勉強や検証をしながらより良いものをと提案されると思います。コミュニティセンターはだめだよというようなご意見もあるのかもしれませんが、それらを踏まえ事務局が委員の意見をまとめて、教育委員会会議に諮っていくのかなと思います。その後、教育委員会会議で「市長部局への移管もありだよ」となった時に、はじめて市長部局の方で所管がきまるのではないかと。先に市長部局で受け皿を用意してしまうと変に誤解を招くと思いますので、ある程度方向性が導かれた段階で市長部局が対応していくような流れになるのかなと思います。行政手続き的なことでいえば、公民館条例を廃止していくのか、コミュニティセンター条例を制定していくのか、公民館条例を多少改正していくのか等については、みなさんと議論しながら、進めていくのかなと、今日はその入口だと理解しております。

秋元委員 今後、我々もいろいろ意見を持っていますし、それぞれ意見も違うので、意見徴取の期間を確保して頂ければと思いますが。

安田課長 私の方からは先ず、コンサルタントの結果を発表させて頂いたところですが、意見交換ですと事務局と審議会の方で行って頂くような流れになるのかと思います。

秋元委員 それでは、意見交換は公運審の事務局で行うでよろしいでしょうか。

事務局渡邊 今後の教育員会議等の同行で対応していくこととなりますので、今この場で大変申し訳ありませんが、具体的な流れは説明いたしかねます。が、必要に応じて対応してまいります。

秋元委員 この問題の出入り口と理解してよろしいですね。それともう一つ問題なのは、地域特有の課題は、地域で取り組む。これは素晴らしい言葉でどこでも通用するのですが、現在、地域力が落ちているのはご存じと思いますが、少なくとも木更津では色々なまちづくり協議会があります。まちづくり協議会そのものは現状ではアップアップのところが多いです。団塊の世代が中心となっています。ほかの世代が入ってきていないということで、自治会を含めてみんな危機感を持っています。

そのような中で、これは地域主体で行ってくれと言われても難しいです。地域が主体といっても、地域のどこをどのように主体として目的を達成するのか説明を頂かないと、このまま「地域をお願いします。」では、はっきりいって地域はみんな、まちづくり協議会をやめますよとなる。そうではない地区もあるかもしれませんが、私の地区では難しいです。そうなると後は職員の皆さんで行うようになってしまうと思います。そのようなことも踏まえて、向こう5年ではなく、10年、20年後も踏まえて、明確に整理して提案していくことが大切ですから、その辺をしっかりと行って頂きたいです。

事務局渡邊 ありがとうございます。その他、ご意見、ご質問等ありますでしょうか。

加山委員、よろしく申し上げます。

加山委員 清見台公民館の加山です。先ほどの説明を聞いているとコンサルタントにお願いして、無駄なことがないか、洗い出したということでもよろしいですか。それだけではないのでしょうか、そのように受け止めました。それで稼働率という言葉が出てきていますが、私は、ある会社の研究開発部門にいましたが、研究開発部門では、稼働率は2割ぐらいで工場はほぼ100%です。経営陣は「研究開発グループはみんな遊んでいるのではないか。」と揶揄されまして、研究部は週に1回動くかどうかという部署でもあるのですが、しかしそれが無いと思ったように前に進まない。ということもあるので、稼働率はそれほどたいした問題ではないと思います。それよりも重要なのは、公民館の役割をどのように位置づけるのか、建築されているのか、たとえば地方自治での公民館はどういう位置づけなのか。木更津市の中では何を行うのが公民館なのか、そのようなコンセンサスを得ているのか。その説明がなくて地域が主体となってしまうというのは、極めてあいまいな言葉で少々、ずさんな問題の投げかけではないかなと思いました。以上です。

安田課長 ありがとうございます。3点頂きまして、3点目は中央公民館館長がご説明したかと思いますが、まず、業務プロセスというものは、先ほど申し上げましたが、事業の縮小、廃止というのがありますが、正職員でなくても行える仕事はこうした方がよいのではないのか、この内容では業務委託で対応した方がよいのではないのか。などの提案を頂きました。また、行政手続の簡素化に向けて「電子申請の導入や、書かない窓口「スマート窓口」の導入など、より良いICTを利用した方がよいのではないですか。他の市ではスマートホンから申請ができるようにしていますよ。」とかそのような提案を頂いております。その中で特に必要のないものは廃止というご意見もありました。2つ目の稼働率ですが、教育委員より稼働率より利用率ではないか、とのご意見も頂きました。稼働率の低下についてというコンサルタントからの所見もあったのですが、金田地域交流センターの稼働率70%近くあるということもあって、コンサルタントからの指摘は、こちらのようになっている状況でございます。3点目は中央公民館館長からお願いします。

水越館長 はい、公民館の役割については、この後、意見交換をしていきたいと思っております。皆様もご存じのとおり、公民館は地域の学習拠点となっております。今は、これに+α地域の活動拠点として、地域には地域の自治がありますので、この後、話し合っていきたいと思っております。以上です。

事務局渡邊 その他何かありますでしょうか。鈴木委員よろしく申し上げます。

鈴木委員 西清川地区の鈴木です。先ほどお伺いしたところ、公運審の意見も吸い上げながら行っていくということですが、コミュニティセンター化したら稼働率は上がると思いますか？このことは重要なことだと思いますがいかがでしょうか。

安田課長 はい、実際には施設の老朽化の問題や地域の実情などもあるので、単純に金田交流センターと比較するのは難しいと思います。また金田地区は定住者が増加し、交流の場を求めているということで、稼働率が上がっているのではないかという分析もできます。ですから他地域での稼働率が上がるとは一概には言えないと思います。しかし、使用用途が多少膨らむのではないかと期待することとあります。たとえば地域づくりに関わる特産物の販売などや今までですと有償でも提供が不可能だったものが可能になることで稼働率、利用率があがっていくのかなど期待できるのではないのでしょうか。以上でございます。

鈴木委員 コミュニティセンターは作ったら終わりではなく、「作った。」がスタートだと思いますが、そこからの検証はどのようにお考えですか。今、考えがなければ持ち帰って検討し、ご説明対応して頂きたい。民間は必ず、新たなことを始めた場合は検証をします。検証した結果を活かして会社が残っている訳です。コンサルタントが指摘したことは、いままで検証がされていなかったことなのではないでしょうか。検証のプロセスまで考え、説明して頂きたい。

また、地域の活動団体など地域が主体になるのはとても素晴らしいことだとは思いますが、地域には民生委員、自治会、まちづくり協議会、青少年健全育成団体などいろいろな団体がありますので、

その団体が公民館を運営するという事なのでしょうか。私は、社会福祉協議会の会長も兼ねていますが、運営しているのは老人です。老人が集まって会議して、老人を集めて楽しんでいる老老介護になっています。現在、老人ががんばって活動しているわけですが、コンサルタントがそこまで理解しているのでしょうか。このような地域の人たちが公民館を運営することはできると思いますか？地域が主体となつてとは、受付から閉館まで張り付いて運営するのかイメージができないのですが、市役所の中ではどのように考えているのでしょうか。

安田課長 はい、いくつかご質問頂きました。プロセスは当然大事な事だと思っております。

社会教育委員会議、公民館運営審議会に、今回はじめて参加させて頂きました。コンサルタントによる提案は公民館のコミュセン化を検討するための入口だと思っております。今後、皆様の意見を事務局がまとめて、「ではコミュニティセンター化へ進めていこう」となった時、様々な課題の整理やスケジュール工程、コミュニティセンターの条例の制定など他の自治体の状況も勉強しながら、どのようにコミュセン化したいのかを整理していかなければいけないと思っております。また、地域による運営ですが、これはあくまでもコンサルタントの分析結果ですので、必ずしもそうでなければいけないわけではありません。地域によってはそれぞれ実情が異なり様々な意見があるかと思えます。皆様のご意見を吸い上げて教育委員会としてどのようにしたらよいかを考えていかなければなりません。委員の皆様のご意見を事務局でまとめながら、進めていただければと思います。運営に関しては、現在社会教育主事など職員が主体的に運営をしていますので、いきなり地域に運営を任せるのは難しいと思っております。それをどのように地域に根付かせていくのか、指定管理制度の導入や民間委託などあらゆる運営方法を比較検証していかなければと考えております。すぐ来年再来年、地域で運営など簡単にできるものではないとは認識はしております。以上でございます。

秋元委員 最後にすみません。今後のスケジュールや利用者への説明会をどのように行うのかについて教えていただけますでしょうか。また、現在、吾妻の建設計画で中央公民館、図書館が建設されると計画されていますが、各公民館にいろいろな指令を発する中央公民館がコミュニティセンター化されるのか、教えていただきたい。

まちづくり協議会は市民活動支援課が関わっていますが、まちづくり協議会は公民館の職員ががんばったから設立したもので、公民館職員と地域住民の信頼関係があったからです。だから単純に事務員を充てられても困ります。市の職員、公民館の職員なら信用できるということで関わっているところがありますので、これらについても理解していただきたい点です。

安田課長 はい、一つ目のスケジュールですが、現在、いつまでとか具体的にお示しはしていないかと思えます。教育部から今年度には意見を集約したいと、先ほどの社会教育委員会議では言われていました。その後、1年くらい時間をかけて地元での住民への説明会をさせて頂かなければいけないのかなと、恐らく、公民館、学区等の各拠点で、住民参画の機会があるのかなと思えますので、それをまとめていかなければいけないとの説明もありました。二つ目の吾妻の中央公民館ですが、社会教育の中心となりそこから情報共有・情報発信したいという意見は教育委員会から頂いております。中央

公民館は社会教育の拠点だというような意見も頂いております。おそらく今後、教育長、市長の意見を頂きながら経営計画を立て、合わせて皆様の意見を吸い上げながら、どのような公民館にするのか、もしくは生涯学習センターなのかはまだわかりませんので、はっきりとお答えできませんが、そのように進めていくことになるだろうことは聞いております。

三つ目の市民活動支援課所管のまちづくり協議会を公民館職員が関わりながらの点ですが、地元と関係性を持って繋がりを持って進めてきたと認識していますので、公民館職員が多少、人事異動で、職員が代わることもあるかと思いますが、引き続き対応できればと考えております。人員配置につきまして職員課ですが、事務事業の見直しなど施策的なことは経営改革課で行っていますので、状況に応じて対応したいと考えております。以上でございます。

事務局渡邊 それでは、委員の皆様、まだまだお聞きしたいことがあるかと思いますが、時間の都合上、ここで質疑を終わりにしたいと思います。

経営改革課の安田課長におかれましては、本日、ご出席、ご説明を頂きありがとうございました。この後、経営改革課は退席頂き、10分程休憩を取らせて頂いて、今の内容も含めまして、意見交換を行いたいと思います。

事務局渡邊 ここからは、委員皆様方の意見交換会となりますので、進行を青木委員長にお願いしたいと存じます。

青木委員長 はい、了解しました。それではこれより意見交換会に入らせて頂きます。はじめに開催趣旨を水越館長よろしく申し上げます。

水越館長 経営改革課の業務評価の説明を皆さんはどう受け止めたでしょうか？

前回の審議会の席にて諮問小委員会を承認して頂き諮問・答申の準備を進めていたのですが、年末にこの件に関して、教育委員会議より社会教育委員会会議・公民館運営審議会の年度内での早急の見解を求められました。限られた時間の中で公民館運営審議会としての見解をまとめて行く必要が生じました。

本日午前中に同じく臨時社会教育委員会を開催され公民館のあり方について意見交換が行われましたが、その席上でも概ねの委員については時代に合わせたコミセン化は必要なのではとの意見がだされておりました。

本日はこれまでの流れや、資料を踏まえ、このあと皆さんから審議委員として、この件についての自由な意見交換の時間とし、委員皆さんの想いや、考え方を発してもらいたいと思います。

そして、一旦地域に帰って頂き、お渡しした資料などのデータなどを参考にしながら思いをまとめて頂き、2月下旬に予定されている第4回公民館運営審議会の席にて、コミュニティー公民館運営審議会の見解・意見書としてまとめ、社会教育委員会議に提出したいと考えております。宜しくお願いいたします。

青木委員長 ありがとうございました。それでは、先に経営改革課の説明を聞かせて頂いて、皆様の自由なご意見を頂きたく思います。また今回は意見をまとめることなく、自由に意見を出して頂ければと思います。また、今回の説明、意見を参考に地元の方や公民館と意見交換して頂いて、その意見を第4回に結びたいと思います。ご活発なご意見をよろしくお願い致します。

秋元委員お願いします。

秋元委員 一点だけ皆さんに覚えておいて欲しいことがあります。公民館というのは皆様もご存じのように戦後、地域を運営する人がいなくなったので、人材を立ち上げようということになり、戦争にいかないように民主的に運営しようとなってきた教育機関です。最終的に公民館は、地域住民がすべて運営していくことが最終のスタイルです。コミュニティセンターは1970年代に自治省が地域のことは、地域で考えて地域で行う。最終的には地域に任せるというのがコミュニティセンターです。教育部局か、ここでいうと市長部局かという役所の部門での違いしかないです。その中で、公民館の方が法律的に位置づけがあると、コミュニティセンターは条例を策定するけど、国の法律に基づいた明確な位置づけがない。ということです。役所では住民主体の運営は一緒ですが、それが教育関連か、市長部局関連で対応するかの違いしかありません。大した変わりはないけれど、教育部局でいくのか、市役所の市長部局で行くのかの違いはお伝えしたいと思います。

青木委員長 ありがとうございました。他にどなたかどうでしょうか。山口委員お願いします。

山口委員 富岡公民館の山口です。私も区長会やまちづくり協議会に関わってきましたが、ある程度方向性が決まった上で、皆様をお願いと説明を行っています。このことについてもある程度方向性が決まった上で、説明、意見交換をお願いします。特に富来田地区は高齢化が進んでおります。他の地域は、人口が増えているなど、地域によって様々ではありますが、日本全国で少子高齢化は問題となっています。地域自治を維持していく上では、地域の行事等にもいかにして関心や興味をもって頂いて、参加者を集めるようにするのも大事なのかなと思います。いかに若い人に関心をもってもらうのか、消防団に入ってくれる若い人がいない。なども問題として必要性を伝えていかなければいけないのかなと思っております。

青木委員長 ありがとうございます。小倉委員お願いします。

小倉委員 畑沢の小倉です。一つお伺いしたいのは、これを持ち帰って公民館単位で意見を述べるということなのでしょうか。持ち帰るというのは、公民館を利用している団体、地区社協、サークル連協、PTAとか色々団体がありますが、その団体、全部にこれを投げかけて集約しろということなのか、その辺のプロセスが良く分からないのですが。

青木委員長 水越館長お願いします。

水越館長 教育委員会の方からなるべく早急に見解を頂きたいと話も出てきておりまして、公民館運営審議会の皆さんは利用者の代表者となっておりますので、この場で話は色々できるかと思いますが、一旦、公民館に持ち帰って頂き、委員の方の知る範囲で館長等、地域の方にある程度の意見聴取をしていただき、公民館運営審議会委員としてまとめて頂きたいと思います。そして、第4回定例会で当地域ではこのような見解がありますと、お話をいただければと思います。

青木委員長 ありがとうございます。加山委員お願いします。

加山委員 清見台の加山です。私は公民館のない土地で育ったものですから、公民館とは漠然としたイメージしかなくて、お年寄りが将棋をしたり、子育て中の親が集まったりなどそのような場所かなと思っておりました。木更津市に在住するようになって、公民館運営審議会委員にさせて頂いて、昨年度だと思いますが、大学の先生に来て頂いて講演を聞く機会がありました。公民館を一番最初に設置した理念というものを聞かせて頂いて、なるほどと非常にある意味、感激しました。昔の人は非常に理念、理想の高いものをもって動かしているのだなと思いました。そういうこともありまして、公民館にはできる範囲で協力したいと思っている訳ですが、今回の話を聞いていると、公民館という入れ物をうまく使おうという考え方のようなのですが、そうではなくて木更津市は行政を運営する中で、公民館をどのように活かしていこうか、公民館の役割とは何かということが先にないと話がズレルのではないかという気が強くしています。入れ物をどうするのか、もっとたくさんの人に来てもらおうというのは、次の話ではないのかなと思います。これから公民館に戻って利用者なりに質問、アンケートも良いですが、こちらから尋ねた時にコミュニティセンター化したらどうなるの？という質問があるかと思えます。答えられないです。我々が公民館に戻って、館長と相談して「コミュニティセンター化はどうですかね。」と言っても、「どうなるの」と聞かれたら、「さあどうなるのでしょうか。」としか説明できません。現実的に利用者に声がけるのは、少々難しいと思います。自分の意見を押し付けて意見を聞くなら簡単かもしれませんが、総合教育会議では大変素晴らしいことを述べていますが、この執行部がずっと替わらない訳ではないので、これが替わったらどうなるのか。先ほどの説明を聞いて思いましたが、いかがでしょうか。

青木委員長 山下委員、お願いします。

山下委員 波岡公民館の山下です。私も今の意見に賛成です。私たちもよく知らない中で、意見を集約したとしても、それはやはり答えられません。先ず第一段階として市の方向性などの説明を聞いた上でしたらわかると思いますが、私たちが意見を集約するにあたって、それに対して質問を受けた場合、私は答えられません。ですからもう少し段階を踏まえた上で、意見聴取等を行って頂けたらと思います。それから私の思いは確かに公民館とコミュニティセンターをすり替えたとしてもそこに人が来なければ何の意味もないと思います。ですので、地域の特性を活かしながらの実践活動がなければ何の意味もないと考えます。波岡で言いますと若い世代が少しずつ動きつつあります。箱ものをすり

替えたとしても、そこに実践がなければ何の意味もありませんから、やはり若い人たちが少しずつでも継承できるようにするのが、シニア世代、私自身の役目だと思っています。

いつの時代になっても色々な壁には突き当たると思います。ですので、そこを踏まえて、コミュニティセンターとしたとしても、少々疑問の部分もありますので、慎重に進めて頂ければと思います。

青木委員長 実形委員、お願いします。

実形委員 金田の実形です。木更津市では唯一コミュニティセンター化になっている地域ですが、実態はどうであるか、お話をさせて頂ければと思います。はっきりいってマイナスです。サンコーという業者への指定管理委託で、この会社に運営は任されています。ただ要所要所ではまちづくり協議会がいろいろな相談にのっています。まちづくり協議会からこのような施策で行って欲しいという要望も出して行っています。

施設も新しく良くなったと思うのですが、一日のサークル活動が15件から25件、多い時には30数件のサークル、団体の活動があります。それが良いか悪いかは判断しかねます。ついでにどのような職員かという30から40代の職員が勤務して、私たちでは思いつかないような施策を行ったりもしています。資料に地域の人をコミュニティセンターの指定管理にすればとありますが、金田だけで考えれば、地域にコミュニティセンターの指定管理を受けられる人材がいるのか、というと金田の場合はいないです。自治会の区長になる方は、それなりに町内からこの人ならできだろうと選ばれて来ていますが、その中で誰と誰なら指定管理者ができだろうかと考えても、出来ないとします。以上です。

青木委員長 他にご意見等ございますでしょうか。加山委員、お願いします。

加山委員 「これからは地域の皆さんが主体となって運営していくのですよ。どうですか。」と問われたら、それは嫌だよ。プロセス結果を見ると、地域活動団体、サークルも含めてだと思いますが、その人たちが主体となって運営するという事は、できる訳がないと思います。少なくとも三中学区にはいません。これをみんなにどうですか。と意見集約したら100%反対となります。目に見えていますので、それでも集約するのであれば今、反対ですと意見を出そうと思いますが、基本的には無理だと思います。

青木委員長 みなさんもどのようにこれを地域に持ち帰って意見を集約するのか、頭を抱えているところだと思います。水越館長お願いします。

水越館長 私もそう思います。ただ前回の時に公民館とコミュニティセンターの違いとはなんだろうか、少々、ワークショップみたいなことを行ったと思います。公民館とコミュニティセンターの違いを簡単にいうのは難しいと思います。社会教育法に則った教育施設、地域の学習拠点としてきたところに、今、新しくコンサルタントの分析結果が出てきて、考え方の中で+ α で学習拠点からチェンジして、

地域の活動拠点としての公民館あるいはコミュニティセンター、そういう施設にしていきたい。というような提案だったのではないかと思います。私も社会教育委員会議の席上でどう思いますかと問われて、とても賛成とは簡単には言えませんし、自分がこれまで取り組んできた業務の否定的な話にもなるので、公民館業務の必要性は私たちも自負して対応してきましたし、指摘もあってたまにたまこのような状況ですので、今後は、公民館は+ α を求められているというものがあれば、公民館運営審議会にも話をして考えていかなければいけないのではないかと。というような話はしております。

今までの説明の中で、今まで行ってきたこと、公民館が行ってきたことは全てできる。という話があり、さらに+ α 、例えば営利目的の販売だとか、これまで公民館ではできなかったことができるようになり、そのため稼働率も上がり利用率も上がりながら、従来通り公民館を使うこともできるのだから何の問題もないでしょう。というような投げかけだと私は思っています。教育委員会議、社会教育委員会議では、今までのことができ、+ α であるのであればコミュニティセンター化もよろしいのではないかという意見も出ていますが、それはそれとして公民館運営審議会としての意見はまとめておきたいと思っています。また見解を出して頂けないかということもありましたので、今回、審議会の皆様の意見を集めるいう状況になってしまいました。皆さんも公民館運営審議会の委員なのだから公民館のことは良く知っているでしょうと言われても、なかなかそういうことではないと思います。コミュニティセンターになったら人がより集まる、学習の拠点にもなるのか、またこのようなコミュニティセンターであればというような要望。守って頂きたいことを受けいれてくれるのであれば、コミュニティセンター化も良いのではないかななどの意見が出てくると良いのかなと、個人的には思っておりました。アンサーにならなくて申し訳ありません。

青木委員長 秋元委員 お願いします。

秋元委員 コミュニティセンターのことはなかなかわかりにくいのですが、中央沿線がコミュニティセンター化されたので、1980年代について調べました。この頃、はじまりました。その時にはあの辺りには公民館がないと思いますが、ブームで非常に人が多く集まったと言われています。それから約40年程、今、どのようになっているかという集客力が落ちてきて開館業務を行っても人が増えない。自分たちで運営していますので、後継者がいない。ということが大きな問題となっています。それと他のところでもあるのですが、補助金ですべて運営してきたようです。先ほどの金田が三千万円の年間委託金だと。ところでコミュニティセンター化する場合は、企業からの寄付を受けることもできるらしいです。最初のころは寄付金を受けて色々事業を実施できたので、有名な先生を招いたりできる。それが20~30年たつと補助金がなくなっている。市からの補助金が少なくなってきた運営がままならないという所もあるし、あるいは市からの補助金が打ち切られて、地域の自治会等から支出して四苦八苦という所もあります。調べるとこのようなことが出てきています。はっきりいって4~5年の関係ならコミュニティセンターは上手に稼働すると思いますが、その先を眺めると結果的に公民館を潰していくのと同じなのではないかなというように感じられます。できれば皆さん、パソコンなどお持ちであればコミュニティセンターの良い点、悪い点を調べてもらえれば色々な事象

がでてきます。そうすると公民館が現状抱えているまったく同じ課題がずうっと抱えてきているということがわかります。コミュニティセンター化にすれば、当面、面白がって人が集まってくると思いますが、今後、その後の問題が大きいことと運営者がいないため、業者に委託すれば、業者は仕事をしなければ委託金そのまま業者に入ってくるので、業者さんの考え一つによって変わるということです。

青木委員長 何か委員のみなさんが意見を出しやすいような様式でもあれば、お願いしたい。

水越館長 はい、色々な話が出てきていますが、賛成、反対もないと思います。今は、年度内にどのような見解を持っているのか意見が欲しいということなので、この後、皆さんに様式みたいなものを勇壮なりしてお渡ししますので、それに沿ってアンサーを考えてきて頂きたく思います。それを集約していきたいと、今のところ考えております。総合教育会議の中でこのことについて少しずつでも進んでおりますので、それを考えていきますと何故反対なのか、この条件をクリアできるのであればコミュニティセンター化もよいのではないかと、など色々な意見の書き方があると思います。コミュニティセンター化の公民館のあり方については、審議委員の皆様も一つ一つ丁寧に対応していく事も必要となってきますので、様式を考えて配付しますので、今日の資料も含めて持って帰っていただき、館長と相談しながらでも、第4回の定例会に向けて各館の意見をまとめて頂ければと考えております。

青木委員長 様式が配付されましたら、委員の皆さんはご対応の程よろしく申し上げます。鈴木館長、お願いします。

鈴木館長 畑沢公民館長の鈴木です。意見を述べる立場なのかわかりませんが、確認という意味でお話をさせて頂いてよろしいですか。

青木委員長 はい、どうぞ。

鈴木館長 先ほどの経営改革課の安田次長の説明の中で、5年度中に市が方向性を示し、6年度に住民の説明会を丁寧に行っていく旨の説明があったかと思えます。ですから持ち帰って館長と相談して、住民の方の意見というと逆に審議員の方と2名でいいのか、まち協の会長を含めるのか、利用者懇談会はどのようにするのか、各公民館ごとに基準がバラバラになってしまうことが懸念されます。場合によっては人づてにいろいろな情報が流れて、私は知らなかった。私には何故説明がないのか。などのいろいろなことが想定されます。ですので時間がない中では、委員の皆さんが利用者の代表としていらっしゃるのであれば、委員の皆さんの意見だけを集約する形をとって、住民に対しての説明は、令和6年度に市が実施していく。その中で市民の方の意見が出てくると思うので、それを整理していく、そのようなスタンスで実施した方がスッキリするような気がしました。意見を申し上げてすみません。その辺を整理されてはどうかと思いました。

青木委員長 只今のご意見を頂いて、委員の皆さんの意見を頂くということでよろしいでしょうか。ほかに何かありますでしょうか。無いようでしたらそれでは意見交換会を終了します。

事務局渡邊 それではこれを持ちまして臨時公民館運営審議会を終了します。